

# 高齢化が進む高砂市の将来の商業環境の空間分析

～高砂市との包括連携協定、産学連携協定の成果 その3～

社会情報科学部

◎B4 福岡 絵梨花、五十嵐 史織、准教授 川向 肇

キーワード

商業活性化, 地域の高齢化, 将来予測, 空間分析



## 研究概要

兵庫県高砂市と本学との包括連携協定、高砂商工会議所と本学との産学連携協定に基づき、社会情報科学部では、2025 年度の研究演習 I、地理情報システム、社会調査法を講義横断で利用して、PBL (Project Based Learning) を実施し、それらを受講した際の研究成果に基づき、東京大学公共政策大学院共催、デジタル庁後援による COG2025 に高砂市が高砂市の商業活性化に関する課題について、高砂市に対して行った提案の前提としての分析結果の一部である。

図 1 は、2025 年の高齢者人口（黄色から赤への主題図）と、スーパーマーケットまで 500m 以遠となる領域（水色）の領域（フードデザートとなる可能性の高い潜在領域）を示したものである。この図を見る限り、フードデザートの潜在地域において、かなり高齢者が多い地域が確認される。

図 2 は、現存する商業施設（スーパーマーケット）の最近隣範囲（エリアマーケティングで一般的に利用される商圈の範囲を示すボロノイ多角形）内の 2025 年の人口と 2055 年の期間での人口減少率を示したものであり、大半の商業施設で将来的に 10% 以上の人口減が発生する可能性が高いことが予想されるという結果が示されている。商圈人口の高齢化と人口減少は、高砂市の将来の商業環境に深刻な影響を及ぼすことが暗示される結果示された。

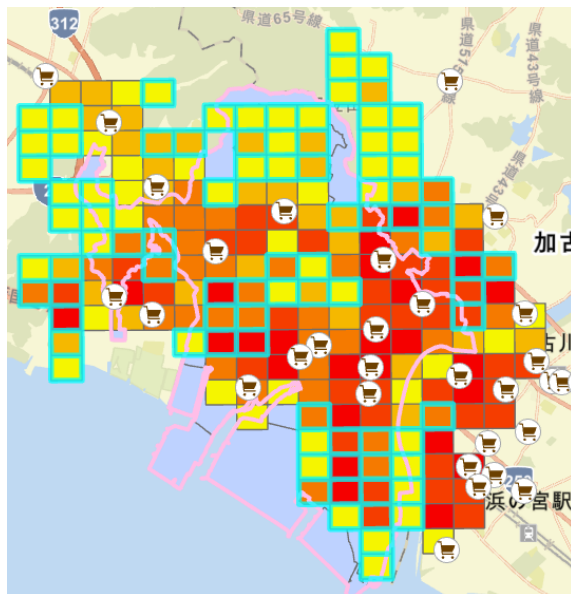


図 1 2025 年の高齢者人口  
スーパーまで 500m 以遠領域（水色範囲）

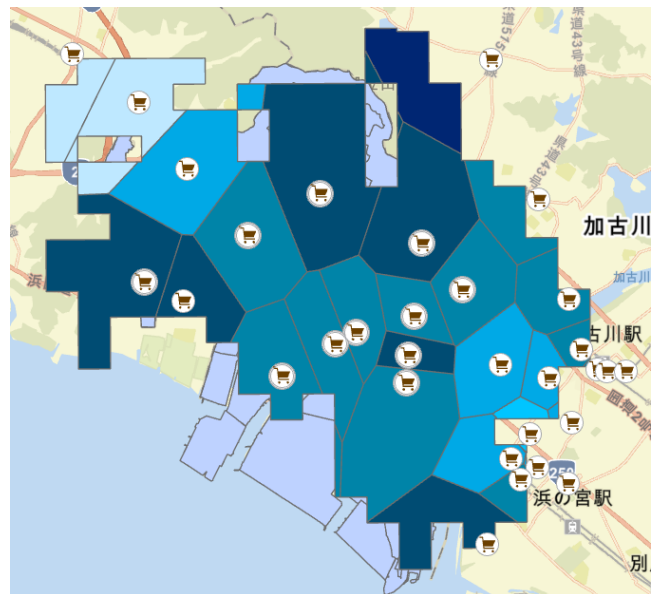


図 2 2025 年から 2055 年にかけての各商業施設の  
人口変化率（薄い水色（増加）⇔濃紺（減少））

## アピール ポイント

高砂市と本学との包括連携協定に基づき、社会情報科学部の講義横断型 PBL (Project Based Learning) における教育・研究成果の一部である。

なお、同研究成果の一部は、第 22 回 GIS コミュニティフォーラムのマップギャラリーで公開している。また、東京大学公共政策大学院共催の COG2025 においてファイナリスト（全国から 63 応募のうち上位 13 位入選）として選出、発表済みである。同コンテストにおいて、データ分析の質と量、分析のち密さは高く評価された。